

1. 件 名：株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパンの事業者防災訓練に関する意見交換について

2. 日 時：令和5年1月17日 10:00～11:15

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

蔦澤防災専門職、澤村防災専門官

(以下、テレビ会議システムによる出席)

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

環境安全部 担当課長 他2名

5. 要 旨

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパンから、令和4年11月29日に実施した原子力事業者防災訓練で確認された問題点・課題、原因分析、原因分析を踏まえた対策について、ERCプラント班との訓練後の振り返りや社内・社外評価結果も踏まえまとめた資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁から、以下の事項を伝えた。

- ・ EALに係る事象の発生時間と確認時間を適切に区分して情報共有できるよう、教育だけに頼るのではなく確認等の仕組みを構築すること。
- ・ 放射性物質が屋外に放出された可能性がある場合の事業者間支援について、支援体制が構築されるまでの自社対応を検討すること。
- ・ 放射性物質が放出された際のモニタリング計画と対応戦略の根拠となるようなデータシートを作成すること。
- ・ 職員安否について集計機器に不具合が生じた場合の対応を検討すること。
- ・ 警備誘導班からの情報は本部から提供できるような体制構築を検討すべき。

これらの事項については、具体的な対策を検討し、今後の原子力防災対策に向けた改善点として、防災訓練実施結果報告書にまとめるように伝えた。

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパンから、防災訓練実施結果報告書としてまとめ、後日説明するとの回答があった。

6. その他

配布資料

資料1：令和4年度 事業者防災訓練 訓練課題対応資料

(株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン)